

つくろえ、 さばえ

SABAE, THE CREATIVE CITY



つくる、さばえ

SABAE, THE CREATIVE CITY

「つくる、さばえ」とは？

鯖江市ではこれから、「つくる、さばえ」を合言葉に、鯖江がこれまで培ってきた「つくる」文化の価値を高め、その価値観を広く浸透させていきます。なぜならこの地で漆産業がはじまった約1500年前から現在に至るまで、鯖江ではさまざまな分野で「つくる」ことを行ってきたから。この「つくる」文化をもとに、すべての世代が新たなアクションを起こす未来をつくっていきます。

目次

第1章 現在の取り組み
「つくる、さばえ」徹底大解剖！ 04-05

第2章 過去の取り組み
さばえをつくった歴史トピック11 06-07

第3章 未来の取り組み
さばえをつくる5つの未来を見にいこう 08-13

- 1話 ものづくりの未来のおはなし 09
未来の鯖江では「協働の機会が増え、鯖江の技術が世界中に発信されている！」
- 2話 まちづくりの未来のおはなし 10
未来の鯖江では「まちづくりに積極的にかかわる鯖江市民が年々増え市民主役で日本一！」
- 3話 ことづくりの未来のおはなし 11
未来の鯖江では「誰もがチャレンジできる環境が整い、やりがいのある日常を過ごしている！」
- 4話 ひとづくりの未来のおはなし 12
未来の鯖江では「探究活動から学びを深めたプロフェッショナルが続々誕生！日本・世界で大活躍中！」
- 5話 支え手づくりの未来のおはなし 13
未来の鯖江では「さまざまなスキルを持つ多くの市民や職員が日本一つくる人に寄り添うまちになっている！」

登場人物



鯖江に住む小学生。学校でプログラミングを習ったことをきっかけに、ロボットに夢中になる。放課後は市内にあるプログラミング教室に通いつめて、オリジナルのロボットをつくっている。大好物はサバエドッグ。



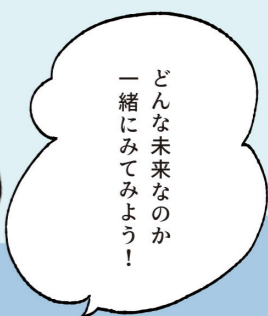
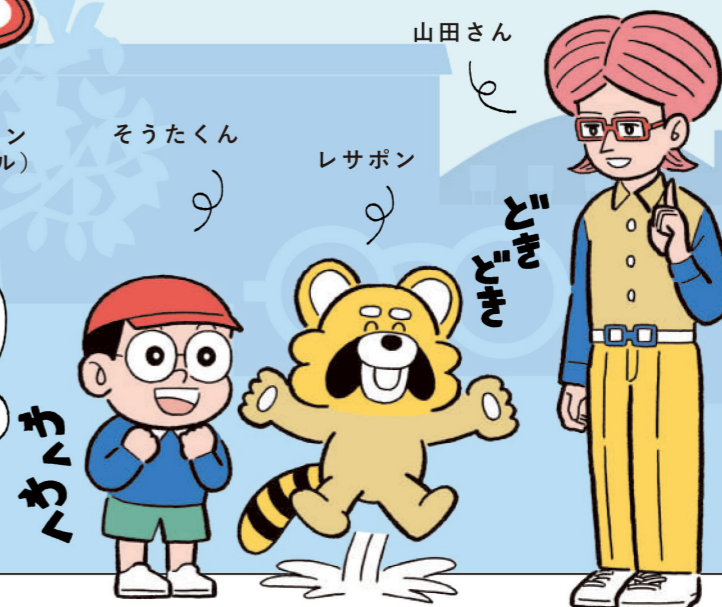
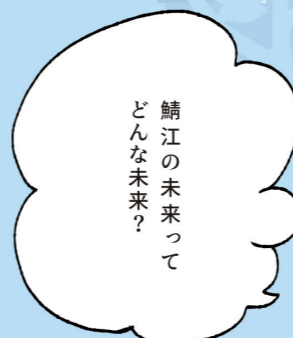
見るからにレッサーバンドだが、自分のことを人間だと思っている。そうたくんと仲良しで、よく西山公園で遊んでいる。怒るとバンザイして威嚇するが、全然怖くない。



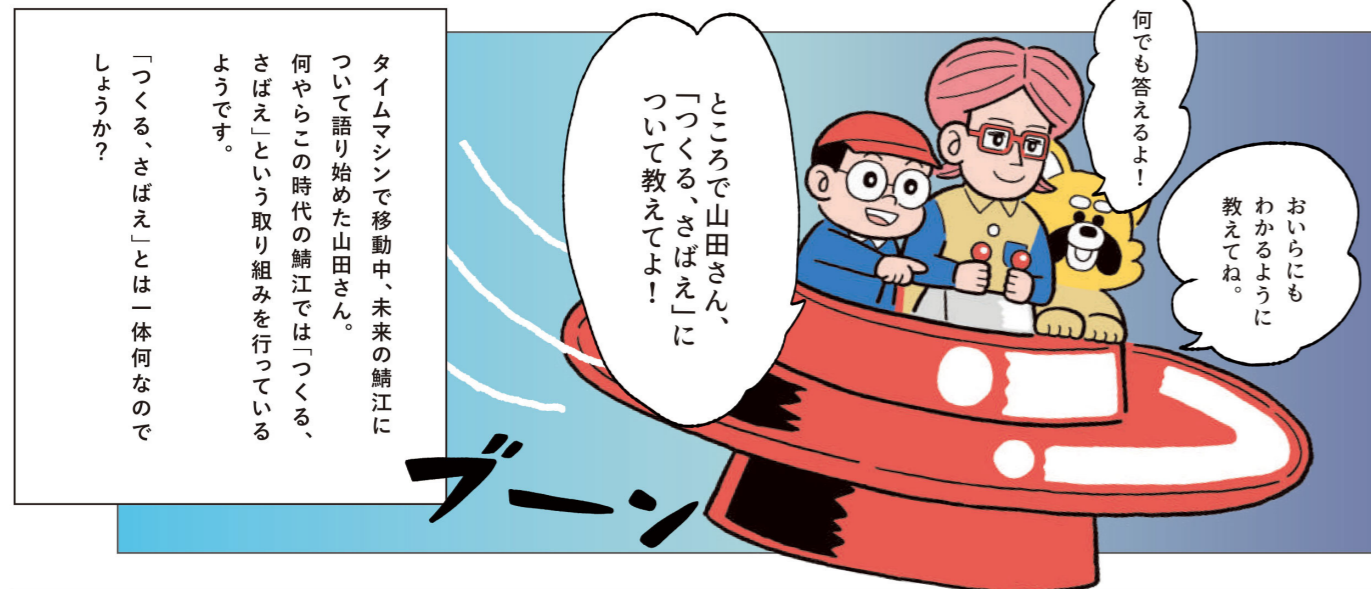
赤いめがねがトレードマークの鯖江市役所職員。そうたくんに鯖江市の明るく楽しい未来を伝えるため、20年後の未来からやってきた。尊敬する人は、鯖江生まれの近松門左衛門。

物語の始まり

さて、ここにいるのは鯖江に住む少年、そうたくんとレサポン。そうたくんはロボットづくりが大好きな少年です。ものをつくることは好きだけど、大きくなってどんなことに活かせるのかわからず、もやもやしています。そんなそうたくんのもとに現れたのは、20年後の未来からやってきた鯖江市役所職員の山田さん。そうたくん、レサポンと一緒に未来の鯖江を見に行くことになりました。さあ、タイムトラベルのはじまりはじまり～！



第1章 現在の取り組み 「つくる、さばえ」徹底大解剖!



質問 「つくる」って何をつくるの?

そうたくん

山田さんの答え

「つくる」って聞くと、まず思い浮かぶのは「ものづくり」だね。でも、「つくる、さばえ」で言う「つくる」は、もう少し広い意味なんだ!

「ものづくり」「まちづくり」「ことづくり」「ひとづくり」そして、その活動を後押しする「支え手づくり」。いろいろな人がいろいろな「つくる」に関わって、未来の鯖江をつくっているんだよ!

「つくる、さばえ」とそのはたらきの図

なるほど…!ものづくりだけではないんだね! 「ものづくり」「まちづくり」「ことづくり」「ひとづくり」「支え手づくり」の5つの「つくる」で成り立っているのか。

そうたくん

そもそも... 鯖江市が長年発信している「めがねのまちさばえ」ってなんだろう?

「めがねのまちさばえ」は鯖江市の強みである「めがね」を市外に発信するためのキャッチフレーズ。一方、「つくる、さばえ」はこのまちに住むひと々に向けたメッセージ。鯖江の文化を定義づけ、差別化したものなんだ。

山田さん

質問 どんな人たちが「つくる、さばえ」にかかわるの? おいらもかかわりたいなあ!

レサポン

そうたくんやレサポンのような子どもから、僕たち大人まで、鯖江市に住む(関わる)一人ひとりが「つくる、さばえ」の大切な一員だよ。鯖江市で新しいアクションを起こすことで、このまちの未来をより活気あふれるものにしてしようという取り組みなんだ!

山田さんの答え

ものをつくる。暮らしをつくる。まちをつくる。「つくる、さばえ」を通して、鯖江に住むすべての人たちが、さまざまな分野でアクションを起こし、自分たちの望む未来を自分たちでつくり出す文化を育てていきます。

アクションを起こしている未来のキーパーソンたち

右腕人材・後継者・クリエイターなど、アクションを起こしているどんな分野の人たちも未来のキーパーソンです。

3章(未来)でくわしく見ていこう!

質問 そもそも、どうして「つくる、さばえ」なの?

そうたくん

山田さんの答え

実は、「つくる、さばえ」は今に始まったことではなく、鯖江市の今までの歴史や出来事があったからこそできた取り組みなんだ!鯖江市がこれまで大切にしてきた価値を新たなアクションへとつなげる取り組みなんだよ。

今までの歴史や出来事があったからこそできた取り組み…?えっそれってどういうこと?もっと詳しく知りたいよ!

よし! 「つくる、さばえ」の取り組みを語る上で欠かせない、過去の歴史トピックをタイムマシンで見にいこう!

2章(過去)でくわしく見ていこう!

山田さん、未来に行く前に、過去の鯖江につれてって!

山田さんにたくさん質問して、「つくる、さばえ」について少しわかってきたそうたくんとレサポン。

しかし、なぜ鯖江でこんな取り組みが始まったのでしょうか。そうたくんたちはまず、過去の鯖江へ行ってみることにしました。

鯖江の過去へレッツゴー!

OK!ガソリン満タンにしておいてよかった。

20年後もまだガソリンなんだね

Let's GO!

次章 過去の取り組み さばえをつくった歴史トピック11

まめちしき 約5万株のつじが咲き誇る西山公園は2006年に日本の歴史公園100選になったよ!(レサポン)

第2章

過去の取り組み

さばえをつくった歴史トピック11

過去の鯖江にやってきたそうたくんたち。長い歴史のなかで起こった11の出来事が、「つくる、さばえ」に必要な大事なポイントになっているようです。約1500年前にさかのぼり、そうたくんたちと一緒に歴史をたどっていきましょう！

さばえって
ずっとつくる
来たんだね！

1955年に鯖江市が
誕生するずっと前から
つくる歴史は始まっ
ていたんだよ

8 2005年 ことづくり 学生連携のまちづくりが活発に

- ・河和田アートキャンプ(2005年~)
- ・地域活性化プランコンテスト(2008年~)

福井豪雨を機に始まった「河和田アートキャンプ」や地域資源を生かした「地域活性化プランコンテスト」など、学生連携の取り組みがスタートしました。全国に先駆けて関係人口に注目した取り組みで、各地から多くの学生が訪れました。



7 2003年 まちづくり 市民主役のまちをつくる

- ・鯖江市市民活動によるまちづくり推進条例(2003年~)
- ・鯖江市市民主役条例(2010年~)

市民が提案や内容の決定に関わり、2つの条例が制定されました。条例には、市民と市(市長、市職員)がともにまちづくりを進めていく決意を表した理念が記されています。「市民主役」で検索してみると鯖江市が一番上に表示されます。



9 2012年 ひとづくり ITに力をいれたまちをつくる

- ・オープンデータ(2012年~)
- ・こどもパソコンIchigoJam(2014年~)
- ・Hana道場(2015年~)

鯖江市ではIT分野に力を入れ、オープンデータの活用を推進。国内でいち早く、市内小中学校でのプログラミング教育がスタートしました。市内ではHana道場(ITものづくりの道場)が開設されプログラミング教育が行われています。



10 2014年 ひとづくり 高校生によるまちづくりがはじまる

- ・鯖江市役所JK課プロジェクト(2014年~)
- ・鯖江高校探究活動(2019年~)

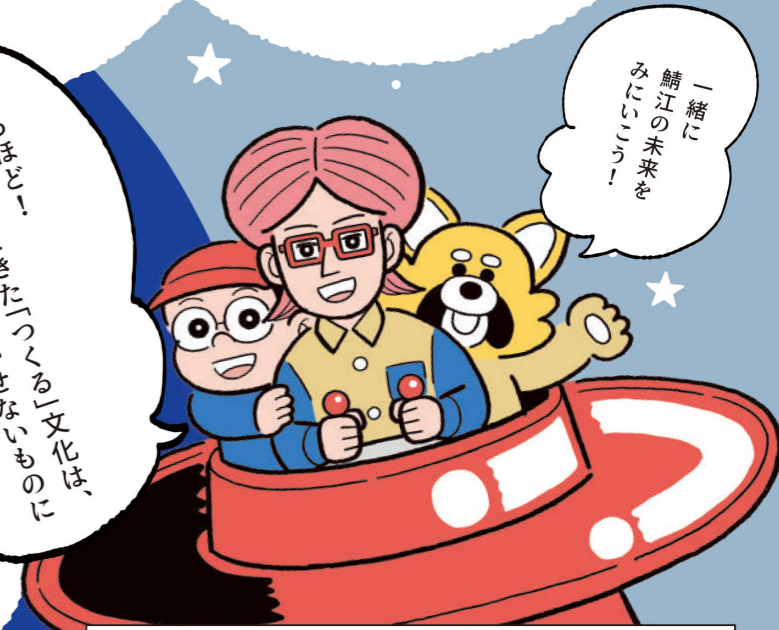
鯖江市では高校生も活躍！女子高校生がゆるくまちづくりをする「鯖江市役所JK課」や鯖江高校の探究活動など市や地域と連携した取り組みが行われています。JK課はメディアでも大きな注目を集め、ふるさとづくり大賞も受賞しました。

11 2019年 ことづくり SDGsさばえ宣言を行う



鯖江市では「SDGsさばえ宣言」を行っており、国のSDGs未来都市や自治体モデル事業にも選ばれました。その後も、ゼロカーボンシティ宣言(2020年)やパートナーシップ宣言制度を導入(2023年)するなど、SDGsの達成に向けたさまざまな取り組みが行われています。

なるほど！「つくる文化」は、昔から続いていた「つくる」文化は、今の鯖江にとっても欠かせないものになっていくんだね。



一緒に鯖江の未来をみにいこう！

次章

未来の取り組み
さばえをつくる5つの未来を見にいこう

1 6世紀 ものづくり 漆器産業が誕生する

約1500年前。地元の塗師が献上した黒塗りのお椀の出来栄に継体天皇が感動したことから、この地で漆器づくりを推奨しました。全国23の漆器産地のなかでは最も長い歴史があり、現在では全国の業務用漆器8割の国内製造シェアを誇ります。



2 1856年 まちづくり 憩いの場・嚮陽溪をつくる

鯖江藩七代藩主・間部詮勝は自ら汗を流し、領民の憩いの場である嚮陽溪をつくりました。現在は約5万株のつつじが咲く日本海随一のつつじの名所・西山公園として親しまれ、日本の歴史公園100選にも選ばれています。



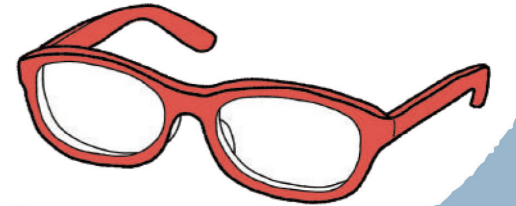
3 1887年頃 ものづくり 繊維産業がはじまる

明治20年頃、輸出用羽二重織物をつくることから鯖江の繊維産業はスタートしました。以来、糸づくりから織物、染色、縫製まですべての機能が集積する繊維王国・福井の中核を担い、発展を続けています。



4 1905年 ものづくり 眼鏡産業がはじまる

明治38年、増永五左衛門が農閑期の副業として眼鏡枠づくりに着目。大阪や東京から職人を招き、眼鏡の製造技術を伝えました。現在、鯖江市は眼鏡フレームの国内製造シェア9割を誇る産地の中心になりました。



5 1995年 まちづくり 世界体操競技選手権大会が開催される

アジア初となる世界体操競技選手権大会を鯖江で開催。人口7万人のまちでの開催は前例のないことでした。地元住民を中心に、延べ3万人のボランティアによって開催成功に向けた取り組みが行われました。



世界体操競技選手権以降、市民によるボランティア活動が活発化し、多くの市民団体がつくられました。1999年、市民団体が自主管理・運営する「鯖江市市民活動交流センター」をつくりました。市民が主体となって運営するのは県内初の試みで、全国的にも珍しい取り組みでした。

第3章 未来の取り組み さばえをつくる5つの未来を見にいこう

未来の鯖江にも仲間がいるかな？

さあここからが本番だ。僕が生きている「20年後の鯖江」と一緒につくっている仲間を紹介するよ！

これまで鯖江の「つくる」にまつわる過去を見て来たそうたくさんたち。いよいよ未来の鯖江をつくるキーパーソンたちに会いに行きます！

どんな人たちに会えるか楽しみ！

第1話
ものづくりの未来

鯖江に魅せられた海外からの移住者

デジタルも最先端の流行にも敏感なベテラン職人

漆野さん

エミリー

第2話
まちづくりの未来

軽やかにみんなを巻き込む心優しいマダム

情熱あふれる若き地域活動家

まちこちゃん

せつこさん

ことづくりの未来

第3話

自分がしたいことをする有言実行なアイデアマン

まことさん

第4話
ひとづくりの未来

ロボットが大好きでたまらない天才ロボット博士

そうたさん

第5話
支え手づくりの未来

鯖江を世界一愛する鯖江市職員

山田さん

山田さんって、鯖江の未来をつくるすごい人だったんだね！

僕だけじゃなくて、そうたくん、君も....

えっ僕....？ 一体どういうこと？

おいらは おいらは？

ねえ おいらは？

20年後の鯖江には、さまざまなキーパーソンが活躍しているんだ。

みんなで「つくる」ことによって、こんな未来が広がっているんだよ。いっしょに見にいこう！

ものづくりの未来

第1話

未来の鯖江では協働の機会が増え、鯖江の技術が世界中に発信されている！

チームで世界を目指す「ものづくり」これまで「ものづくり」といえば、職人やつくり手だけが行うものでした。しかし、未来の鯖江では、「ともにつくる」がキーワード。これまでの匠の技術を守り育てつつ、テクノロジーを取り入れるつくり手も増えています。デザイン、編集、企画、広報など多様なスキルを持つ人材と協働することにより、鯖江のものづくりが世界へ広がっています。

まずは「ものづくりの未来」を見てみよう！

デジタルも最先端の流行にも敏感なベテラン職人

漆野さん

海外からの移住者

エミリー

職人歴40年のベテラン漆器職人。こう見えて流行に敏感で、AIの扱いも今ではなれたもの。最近では、県外のデザイナーと連携し新商品開発にも積極的に取り組んでいるらしい。好きな言葉は「アップデート」。

日本が大好き。ある時たまたまネットで見た、鯖江の漆器に惚れ込み鯖江に移住。現在は、企画・広報を担うフリーランスとして、職人さんを広く支援している。日本酒が大好きで、職人の漆野さんとは飲み友達。

普段のことについて
どんなことをしているの？

わしは何でも新しいものが好きでな、いつもは漆器を作っているが、鯖江市がやっとなるデザインスクールで、ものづくりを学んだ仲間と考えた企画で新ブランドを立ち上げたんじゃ！

デジタルについて
昔は今より使いこなせてなかった？

AIも最初は何が何だかわからなかったが今は慣れたものになったなあ...。最近では県外のデザイナーさんと仲良くなってな、最新ツールを使いながら新商品の開発に取り組んでおるぞ。

未来のキーパーソンにインタビューしてみた！

仕事について
何がきっかけで今の仕事をしているの？

鯖江の人は魅力的だし、ものづくりの技術もすごい！この素晴らしいさをもっと多くの人に知ってもらいたいと思うようになったの。職人さんがつくることに集中できるように、私のスキルや経験がものづくりに役に立てばうれしいな。

仕事について
今の仕事のどこが好き？

会社に所属するのもいいけど、フリーランスは自由がきくし、職人さんを広くサポートできるのが気に入ってるの。これからも鯖江のつくり手を応援したいと思っているわ。

POINT!

未来の鯖江のものづくりをつくる現在の取り組み

キミやそうたくんが暮らしている「現代の鯖江」では、こんな取り組みが行われている。未来につながる重要な取り組みだったんだね！

RENEW
鯖江市・越前市・越前町で開催される、工房見学イベント。一般の人々が作り手の想いや背景を知り、技術を体験しながら買い物も楽しめる産業観光力を入れている。

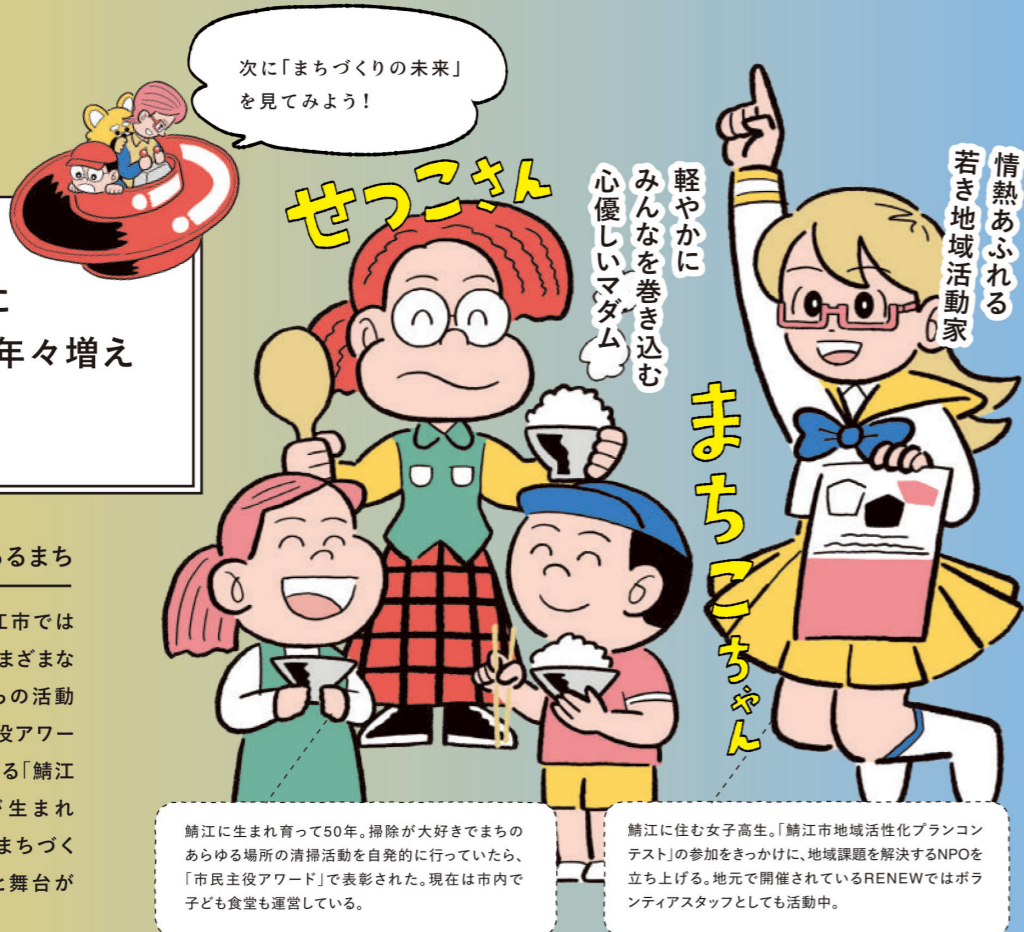
新産業の創造
眼鏡産業ではチタン加工技術を活かした医療機器の開発、越前漆器においては、最先端技術を用いた漆の造形物の製作や海外で受け入れられる新たなデザイン研究が進められている。

産業向けデザインスクール
デザイン経営の視点をもつ経営者や広義のデザインを実践するクリエイター、そして地域を支える右腕人材を育成することを目的に、鯖江市と越前市による学びの場としてデザインスクールを開校している。

第2話

未来の鯖江では
まちづくりに積極的にかかわる鯖江市民が年々増え
市民主役で日本一!

どんな人も活躍できる舞台があるまち
市民主役の精神が根づいている鯖江市では
これまで、世代、性別、立場を超えたさまざまな
市民活動が生まれてきました。これらの活動
内容を見える化し、賞賛する「市民主役アワード」や、自分たちのアイデアを提案できる「鯖江市地域活性化プランコンテスト」が生まれたことにより、若い世代も積極的にまちづくりに参画。鯖江で活躍できる居場所と舞台が生まれています。



次に「まちづくりの未来」
を見てみよう!

せつこさん

軽やかに
みんなを巻き込む
心優しいマダム

ままちこちゃん

情熱あふれる
若き地域活動家

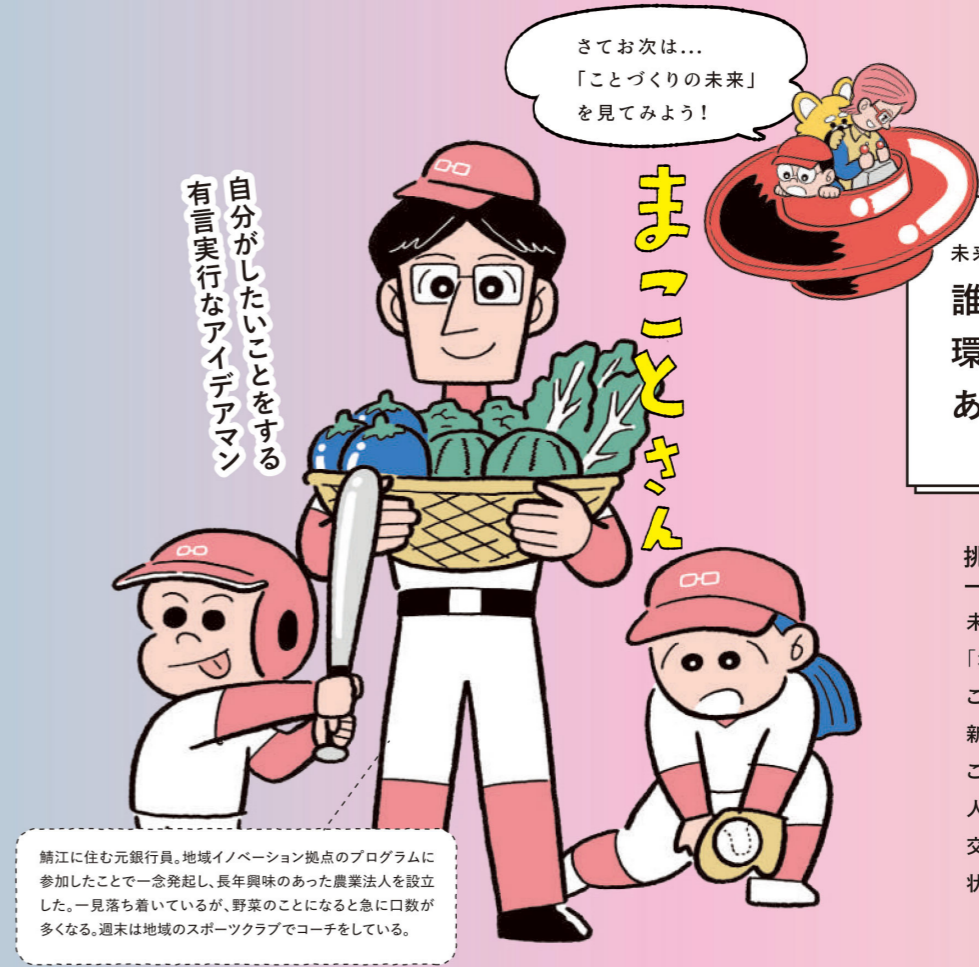
鯖江に生まれ育って50年。掃除が大好きでまちのあらゆる場所の清掃活動を自発的に行っていたら、「市民主役アワード」で表彰された。現在は市内で子ども食堂も運営している。

鯖江に住む女子高生。「鯖江市地域活性化プランコンテスト」の参加をきっかけに、地域課題を解決するNPOを立ち上げる。地元で開催されているRENEWではボランティアスタッフとしても活動中。

第3話

未来の鯖江では
誰もがチャレンジできる
環境が整い、やりがいの
ある日常を過ごしている!

挑戦が生まれ続けるプラットフォーム
未来の鯖江では、市民の活動が次々と生まれる。「地域イノベーション拠点」が誕生しています。この拠点は、地域に住む社会人や学生など新しいことに挑戦したい人たちが集う場所。ここで行われる学びの場に参加したり、多様な人たちとのネットワークを構築したりなど、協働や交流を通じて常に新たな活動が生まれ続ける状況を実現しています。



さてお次は...
「ことづくりの未来」
を見てみよう!

ままこちゃん

自分がしたいことをする
有言実行なアイデアマン

鯖江に住む元銀行員。地域イノベーション拠点のプログラムに参加したことで一念発起し、長年興味があった農業法人を設立した。一見落ち着いているが、野菜のことになると急に口数が多くなる。週末は地域のスポーツクラブでコーチをしている。

普段のことについて
どんなことをしているの?

世代を超えてつながりをつくりたいと、「子ども食堂」を開いている。廃棄される運命の食材を使っているので、食事代は無料!地域に住むみんなの交流の場にもなっているのよ。

やりがいについて
何が活動の励みになっているの?

自分でできるささいなことでも「市民主役アワード」で評価してもらえたことがとても嬉しかったの!私でも地域の役に立てることがあるんだと、やる気につながっているわ。

未来のキーパーソンにインタビューしてみた!



まちづくりの未来

普段のことについて
地域に興味を持ったきっかけは?

学校の先生のすすめで「鯖江市地域活性化プランコンテスト」に参加しました。自分が住むまちのことなんて考えたことがなかったけど、コンテストに出たことで興味がわき、いろんなことに挑戦したくなったんです。

普段のことについて
休みの日は何をしているの?

鯖江のいろんなイベントに遊びに行くことが多いですね。RENEWでは越前漆器の職人さんと仲良くなり、ボランティアスタッフとして、ものづくりを勉強中です!

普段のことについて
地域イノベーション拠点を訪れたきっかけは?

働く場所以外でも人のつながりをつくりたいと思い、通いはじめました。起業を目指す人や社会課題への意識が高い人が多く、とても刺激になりましたね。

普段のことについて
農業法人をはじめようと思ったのはなぜ?

これまで興味はあったけど、なかなか一歩が踏み出せませんでした。でも、地域イノベーション拠点のプログラムに参加した仲間に触発されて、私にもできるかも!とイメージが付き、一歩を踏み出せました。

未来のキーパーソンにインタビューしてみた!



ことづくりの未来

普段のことについて
苦労したことはありましたか?

法人を立ち上げてははじめはわからないことばかりだったけど、鯖江では新しいプロジェクトを立ち上げる人が多いので何でも気軽に相談できました。

普段のことについて
休みの日はどう過ごしてる?

鯖江で活動する起業家と親しくなり、その人が企画した子ども向けイベントを時々手伝っています。予想以上に楽しくて、今では自分でもイベントを企画運営しているんですよ。

POINT!

未来の鯖江のまちづくりを 現在の取り組み

キミやそうたくんが暮らしている「現代の鯖江」では、こんな取り組みが行われている。未来につながる重要な取り組みだったんだね!



鯖江市役所JK課プロジェクト

鯖江市が2014年にスタートした市民協働推進プロジェクト。地元の女子高生たちが自由にアイデアを出しあい、地域と連携しながら自分たちのまちを楽しむ企画や活動に取り組んでいる。



市民まちづくり応援団

まちの特徴を生かした企画や景観を良くする運動など、各地区の市民が主体となり、まちの活性化や課題解決を目指す活動に取り組んでいる。



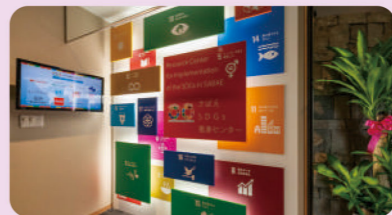
鯖江市地域活性化プランコンテスト

若者が提案する地域活性化のための企画を支援する未来創造型のコンテスト。地域ブランドの創出支援や若者を対象に地域活動への参加を促進させる活動を展開している。

POINT!

未来の鯖江のことづくりを 現在の取り組み

キミやそうたくんが暮らしている「現代の鯖江」では、こんな取り組みが行われている。未来につながる重要な取り組みだったんだね!



さばえSDGs推進センター

鯖江市のランドマーク「めがね会館」9階にあるSDGsに関するひともの・情報が集まる拠点。「ジェンダー平等の実現」を軸に、すべてのSDGsゴールに向けて産学官民が協働でアクションを起こしている。



さばえCross Art(河和田アートキャンプ)

2004年の福井豪雨をきっかけに始まった災害復興支援を中心としたアートプログラム。現在では市内全域で地域の振興、交流と「絆」を主題に置いた事業に活動の幅を広げている。

第4話

未来の鯖江では
探究活動から学びを深めた
プロフェッショナルが続々誕生!
日本で・世界で大活躍中!

「ふるさとさばえ」で探究心を育む

鯖江市では、これまで培ってきた学びの種を活かし、自分の興味関心について主体的に探究できる環境を整えてきました。例えば、鯖江高校では、自分で興味を持ったことを調べる探究活動を実施しており、今ではそれをきっかけに、ITやものづくり、スポーツなど、様々な分野のプロフェッショナルとして活躍しています。

世紀の大発明をした天才ロボット博士。
小さい時からロボットをつくるのが大好きだったそう。
あれ…この人どこかで見たことあるような…?

天才ロボット博士
そうたくん



第5話

未来の鯖江では
さまざまなスキルを持つ
多くの市民や職員が
日本一つくる人に寄り添う
まちになっている!

つくる人に伴走する市民や職員

長年、アクションを起こす人々に寄り添い続けてきた多くの市民や職員。社会が変化するスピードは年々早くなり、市民のニーズが多様化するなか、つくる人に伴走する市民や職員が求められています。デザイン思考や民間企業での経験を持つ人など、一人ひとりが高度なスキル・経験を活かし、市民のアクションを強力にサポートしています。

鯖江を世界一愛する
鯖江市職員

山田さん



さてこれで最後だ。
「支え手づくりの未来」を見てみよう!

ここまでそうたくんたちと一緒に未来の鯖江を旅してきた山田さんは、鯖江を世界一愛する市役所の職員。市民のチャレンジを応援することが何よりのやりがいで、デザインやブランディングなど幅広く勉強している。

普段のことについて
ロボットをつくりはじめたきっかけは?

小学生の時に学校でプログラミングにふれてロボットに夢中になったんだ。プログラミング教室に通いつめてオリジナルのロボットもつくったんだよ。

普段のことについて
ロボット博士になったのはなぜ?

高校での探究活動で、ITを使った地域課題の解決策を発表したら、鯖江のモデル事業として実施することになったんだ。そこからロボットで人の役に立ちたいと思うようになったんだ。

未来のキーパーソンにインタビューしてみた!



ひとづくりの未来

仕事について
ロボット以外に興味のあるものってなに?

休みの日はスポーツを楽しんでいるよ。鯖江市は体操のまちとしても知られていて、スポーツを通した学びも多いんだ。いつかスポーツとロボットを組み合わせた研究にも挑戦したいね。

あの…
もしかして、未来のボクですか?

え? きみの名前もそうたくん!?
っていうことはもしや……!!

普段のことについて
これまでどんなことをやってきたの? その1

職員になったばかりの頃は市民の声が分からず、地域で活動している人に行政に求めていることを聞いて回りました。そのおかげでまちの人たちのリアルな声が変わり、学びも多くなって事業立案に活かすことができました。

普段のことについて
これまでどんなことをやってきたの? その2

鯖江市でも問題になっている食品ロスに関する取り組みを一般公募したところ、市内の企業から提案があり、モデル事業として企画から実施までかたちにしました。

未来のキーパーソンにインタビューしてみた!



支え手づくりの未来

仕事について
この仕事で嬉しかったことは?

地域で子ども食堂に取り組みせつこさんから「自分だけでは続けられなかった。山田さんや支えてくれる周りの人たちがいろんなスキルを持っていたおかげで今の活動がある」と言われたことが嬉しかったですね。

仕事について
今の仕事のどこが好き?

職員も学びの機会がたくさんあることです。デザイン研修に参加したら面白かったし、若手職員でも自分たちのアイデアを市長に提案することができるのでやりがいを感じますね。

POINT!

未来の鯖江のひとづくりをつくる現在の取り組み

キミやそうたくんが暮らしている「現代の鯖江」では、こんな取り組みが行われている。未来につながる重要な取り組みだったんだね!



クリエイティブ教育都市事業

子どもたちへのプログラミング授業を通して、ICT社会を支える人材を育成。官民連携によるプログラミング教育ができる自治体は全国的にも少なく、鯖江独自の強みとなっている。



鯖江高校探究活動

地域との協働を柱に、持続可能な地域社会を形成する人材を育成するため、探究学習や課題の設定、地域や企業とできる自治体は全国的にも少なく、鯖江独自の強みとなっている。



ふるさと学習

「ふるさと学習」を通して、鯖江の歴史・自然・文化・産業のすばらしさやその継承・発展の大切さに気づき、自身が鯖江の重要な一員であることの自覚を育んでいる。

POINT!

未来の鯖江の支え手づくりをつくる現在の取り組み

キミやそうたくんが暮らしている「現代の鯖江」では、こんな取り組みが行われている。未来につながる重要な取り組みだったんだね!



子育てサポーター養成講座

養成講座の修了生が子育てサポーター(COSAPO)として、子育て支援センターと協働しながら、地域ぐるみで子育て中の親の見守りやサポートを行い、子育てしやすい環境づくりを目指している。



デザイン思考研修

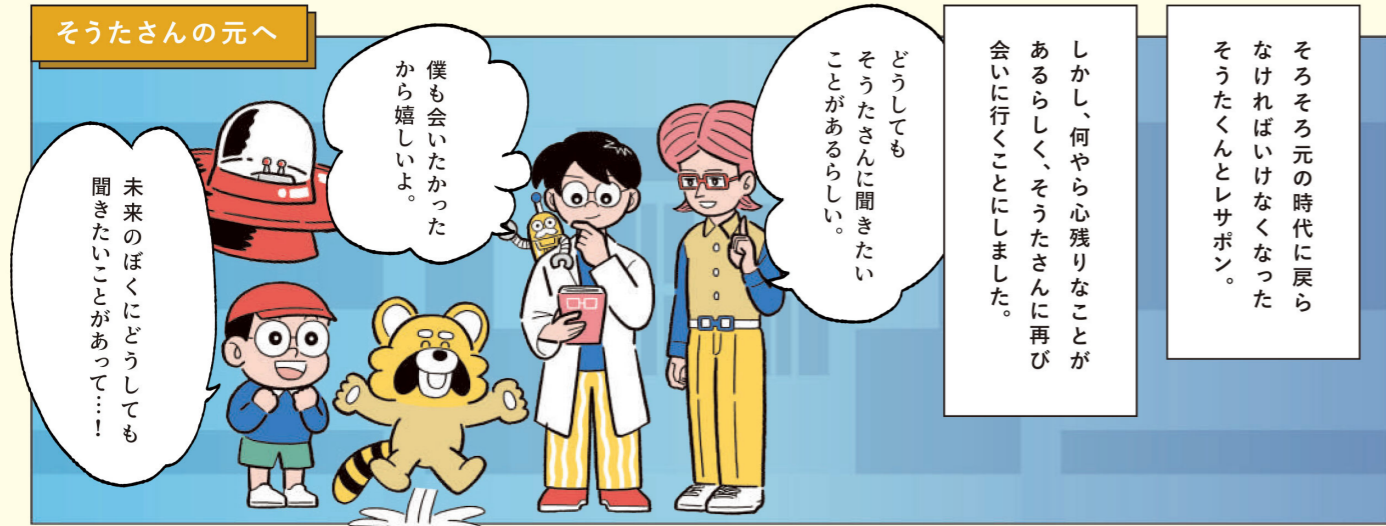
鯖江市職員を対象に、県内外で活躍するデザイナー・クリエイターを招いて、デザイン思考に触れる研修会を開催。課題解決を目指す思考法を学び、職員提案制度へとつなげている。



政策デザイン

鯖江市職員がデザイナーやクリエイターとワークショップを繰り返しながら、市民(ユーザー)目線に立った政策立案を目指している。

そうたさんの元へ



未来のぼくにどうしても聞きたいことがあって…!

僕も会いたかったから嬉しいよ。

どうしてもそうたさんに聞きたいことがあるらしい。

しかし、何やら心残りなことがあるらしく、そうたさんに再び会いに行くことにしました。

そろそろ元の時代に戻らなければいけなくなったそうたくとレサポン。

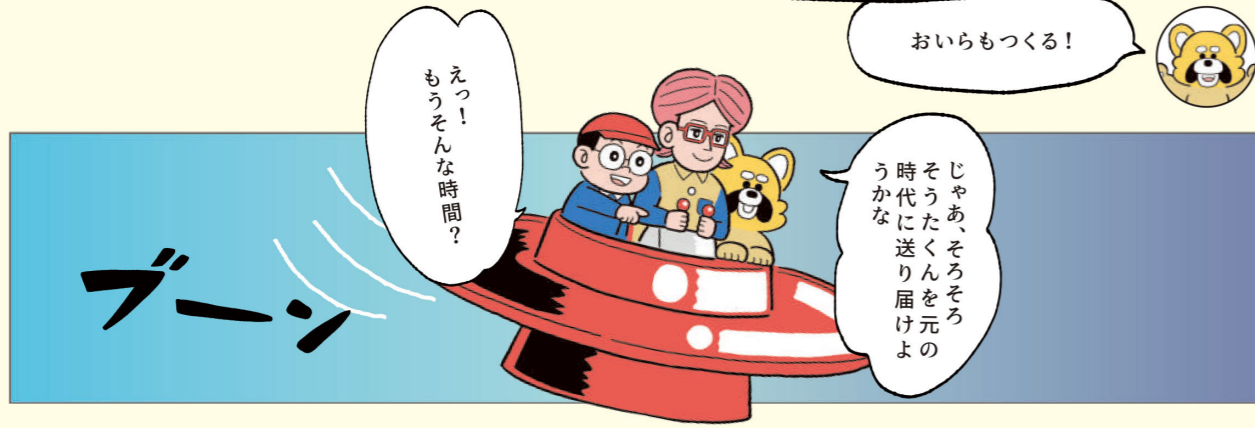
僕に聞きたいことって何かな？

未来の僕は楽しくロボットをつくってる？今、ロボットづくりは楽しいけど、時々このまま好きでいられるか不安になるんだ…。

きみのおかげで、未来の僕は毎日楽しくロボットづくりをしているよ。だからこれからも今楽しいと思える「つくる」を続けてほしいな。このまちはさまざまな「つくる」取り組みが生まれているけど、自分のできる関わり方で「つくる、さばえ」を実現してくれると嬉しい。

ぼく、これからもつくっていくね！

おいらもつくる！



ねえ山田さん！僕たちみんなが「つくる」とこんな未来になっているんだね！

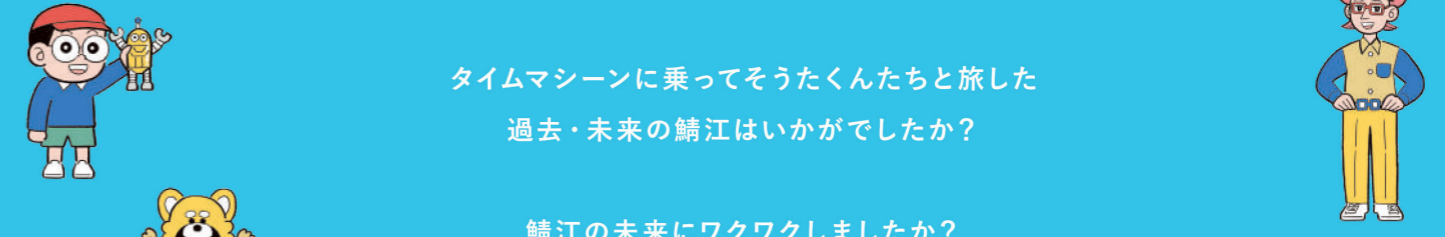
そうだね、みんなが「つくる」まちだから、仲間ができたり、「鯖江っていいな」と感じて訪れる人が増え…。人やもの、ことの交流からどんどん新しい「つくる」が生まれているんだ。

ぼく、未来が楽しみにってきた！

そうたくんを未来に連れてきてよかった！未来でまた会えるのを楽しみにしているよ！

おいらにも会いに来てね！

またね！ 未来のさばえでまってるよ！



タイムマシンに乗ってそうたくんたちと旅した過去・未来の鯖江はいかがでしたか？

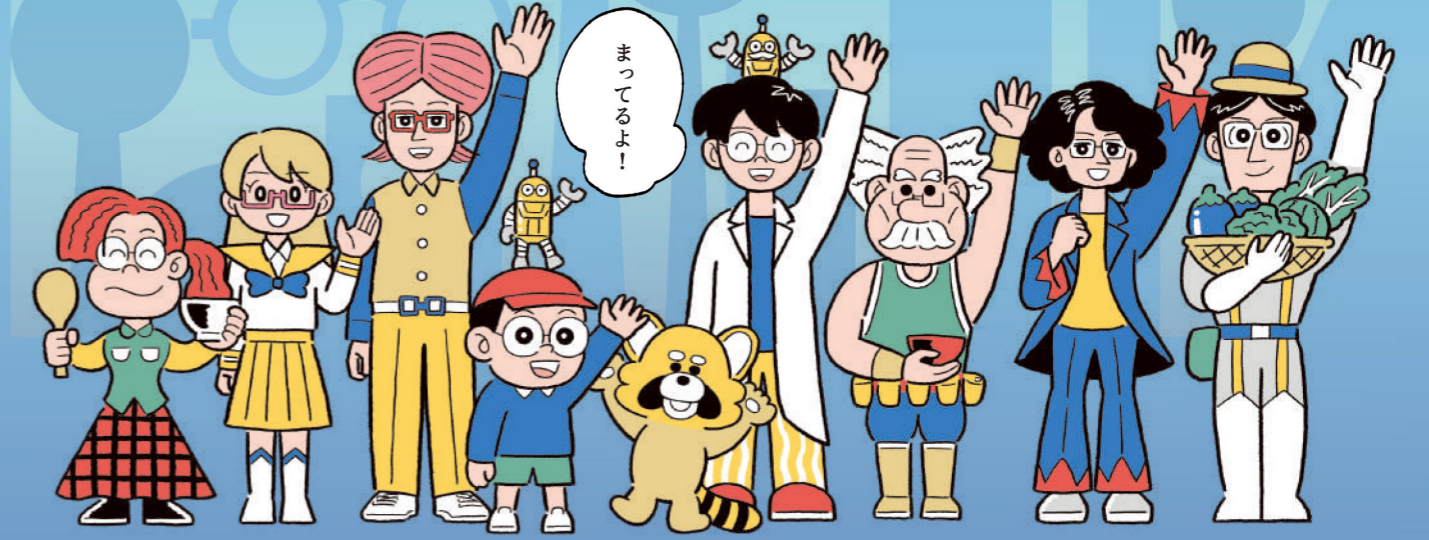
鯖江の未来にワクワクしましたか？
楽しそうな未来だと思いましたか？

「つくる、さばえ」で描かれている未来は決してフィクションではなく、これから私たちが体験するかもしれない物語。

人をつくり、まちをつくり
ものやことをつくり、支え手をつくる。
その主人公は鯖江で生きる私たち一人ひとりです。

未来のことは誰にもわかりませんが、
つくり続けているかぎり、
このまちはきっと想像以上に面白くなるはず。

そう思える、その日のために。
これからも、ずっと。
「つくる、さばえ」



登場していただいたみなさん

せつこさん / まちこちゃん / 山田さん / そうたくん / レサポン / そうたさん / 漆野さん / エミリーさん / まことさん

SABAE, THE CREATIVE CITY

めがねのまちさばえ



発行年月 令和6年1月
発行元 鯖江市役所 政策経営部 総合政策課
住所 〒916-8666 福井県鯖江市西山町13番1号

つくる、さばえの
公式WEBサイトはこちらから！

つくる、さばえの全編は、WEBページにてご覧いただけます。
tsukuru-sabae.com

